

| | | | |
|--------------|-------------------|------------|------|
| 授業科目名 | 基礎ゼミナール (2100307) | | |
| 時間割名 | 基礎ゼミナール (44105) | | |
| 時間割担当 | 伊崎一夫 | | |
| 実施期 | 通年 | 単位数 | 2 必修 |
| 曜日・時限 | 木・4 | | |

授業の目標・概要

大学生として、高度な専門知識と確かな学士力を身につけるための見通しと目標を持って過ごすことができるように、4年間の学習や研究活動の計画を立てる。目標としては、卒業研究を意識させ、卒業論文を書くために必要な文献研究の方法や人間教育学としてのレポート作成法など、これからの専門研究の基礎となるアカデミックスキルを身につけることに主眼を置く。

学習の到達目標

- ・課題を発見し、探求し、解決する手法を考えて実践する
- ・論理的な構成で、説得力のある発表を行う
- ・グループ討議や相互批評を通して、コミュニケーションスキルを高める

授業方法・形式

- ・1回生クラス担任団が共同して指導を行う。クラス内の4～5名程度の小グループが活動の基本単位となる。
- ・具体的なテーマを設定し、学生自身が考え、調べてまとめ、最終的に発表するまでを主体的に行う。
- ・調査、観察などを含む情報収集方法、ブレインストーミング、プレゼンテーション、意見交流など多様な活動を行う。

授業計画

【前期】

- 第1回 ガイダンス : 「基礎ゼミナール」の意義と目標
- 第2回 ガイダンス : 自己紹介, 目標設定と履修計画
- 第3回 文献・資料検索の方法 図書館の利用方法等
- 第4回 情報を読み解く : 情報の活用と処理 - ニュース
- 第5回 情報を読み解く : 情報の活用と処理 - その他のメディア
- 第6回 情報を読み解く : 新聞を分析する - 社会面
- 第7回 情報を読み解く : 新聞を分析する - 教育面 (教師)
- 第8回 情報を読み解く : 新聞を分析する - 教育面 (児童、生徒)
- 第9回 レポートの作成方法と課題テーマの選択
- 第10回 資料の収集・整理とレポート作成
- 第11回 プレゼンテーションの方法
- 第12回 プレゼンテーション
- 第13回 プレゼンテーション
- 第14回 プレゼンテーション
- 第15回 前期で学んだことの成果と課題を幅広く情報発信する。

【後期】

- 第1回 ガイダンス : 「基礎ゼミナール」の意義と目標を確認する
- 第2回 先輩教師に学ぶ
- 第3回 先輩教師に学ぶ
- 第4回 グループで設定したテーマについて調べる・考える - テーマを設定する -
- 第5回～第7回 グループで設定したテーマについて調べる・考える - 新聞・図書・雑誌・調査等による情報収集 -
- 第8回～第10回 グループで設定したテーマについて調べる・考える - 発表原稿、レジュメ等の作成 -
- 第11回～第14回 グループで設定したテーマについて発表する - 意見交流会 -
- 第15回 意見交流会をふまえ、自分たちの学びや取り組みについてまとめる。

成績評価の基準

積極的な授業参加、プレゼンテーション、課題・レポート等を総合的に評価する。

授業時間外の課題

大学での授業は、自ら考え、疑問や問題点を整理することが、これまで以上に求められる。学校教育や教師としてのあり方等について、普段から見識を高めるようにすること。

グループ内の協議については、授業時間外においても積極的に行うこと。

メッセージ

大学での授業は、既存の知識を「覚え」「正解を導き出す」ことだけではありません。自ら考え、疑問や問題点を整理し、それを解決するための方法を模索することが大切です。「基礎ゼミナール」では、こうした研究に取り組むとき必要な「アカデミック・スキル (Academic Skills)」を学習します。大学で初めて経験する過程を大切にして、研究を続けていくために必要なことを学び、次の研究のステップに進んでいくことを期待します。

教材・教科書

特になし。必要に応じて、授業中に指示します。

参考書

特になし。必要に応じて、授業中に指示します。